

スペシャル トークセッション

とき **11月8日(月) 最終日**
14:00~16:00

ところ **アサバアートスクエア**

参加料金 **おとな 2,000円** (参加費変更)
※ラオスの
お茶付き **こども 500円**

申込み 事前に下記まで「氏名・人数・内訳
(大人・子ども)」をご連絡下さい
※当日参加も可能ですが定員になった場合締切らせて頂きます

Email: patu.jasmine2016@gmail.com
TEL : 070-6971-2612 (相馬 淳子)

Vol.26 PaTu ラオスからのおくりもの
ラオスのこども2022カレンダー制作記念イベント

時空をこえてー ラオスの子どもたちのアート NPO「ラオスのこども」とアサバアートスクエア

不思議な縁でつながった3人。
それぞれの活動の交わりや拡がりをたどりながら、ラオスのこと、子どものこと、教育、創作活動、アート、伝統文化など、縦横無尽に語り合います。
会場で、ラオスの子どもたちのアートの世界に浸りながら、3人のトークセッションに耳を傾け、ときを超え、日本とラオスを超えて、一緒に旅してみませんか？



ラオスのこどもカレンダー2022
イベント開催のきっかけになったALCの
オリジナルカレンダー。注文はコチラ↓
http://www.deknoylao.net/news/news_202107.htm
(会場でもご購入できます)



NPO法人ラオスのこども (ALC) 代表
チャンタソン インタヴォン



アサバアートスクエア 代表
浅葉 和子 (あさば かずこ)



PaTu 代表 (そうま じゅんこ, ジャスミン)
相馬 淳子



1974年に国費留学生として日本の地を踏み、大学で教育学を学ぶ。1982年に、「ラオスの子供に絵本を送る会」を設立、その後NPO法人「ラオスのこども」として、読書推進・図書室支援、ラオスでの出版事業、子どもセンター支援などを続ける。ALCでの活動の他、ホアンカオ保育園・幼稚園・小学校や、ラオス伝統の染色・織物の職業訓練センターの運営にも携わる。



1968年より横浜市で子どものデザイン教室をスタート。地域のアートコミュニティの拠点として、子どもが持つ可能性を、ものづくりの喜びと自由な空間の中で育む教育を目指す。児童絵画を通して異文化交流を行う(エジプト、アメリカ、オーストラリア、アフリカ、メキシコ他)。1996年にALCの「専門家派遣セミナー」で、ラオスの子どもたちに、創作ワークショップを実施。



元中学理科教員。アサバアートスクエア デザイン教室アシスタント。2000年より家族の海外勤務に伴い、ガーナ、バングラディッシュなどで暮らす。2016-19年にかけてラオスの首都ヴィエンチャンに在住し、ALC図書館の実験教室やホアンカオ学校の創作活動を手がける。現在は日本でブランドPaTuを立上げラオスの染物・織物を紹介している。

展示イベント自体は11/4(木)~8(月)11:00-16:30で開催しています。主催: PaTu (相馬 淳子) <https://www.facebook.com/events/299604541753115>
(入場無料) ※ご来場の際は マスクをご着用の上コロナ感染防止対策にご協力をお願いします。協賛: (認定) 特定非営利活動法人 ラオスのこども, アサバアートスクエア

